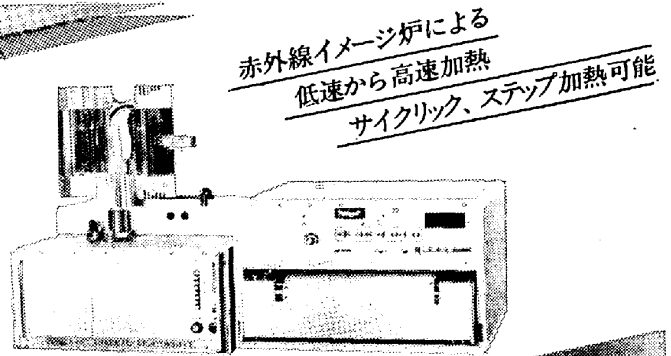
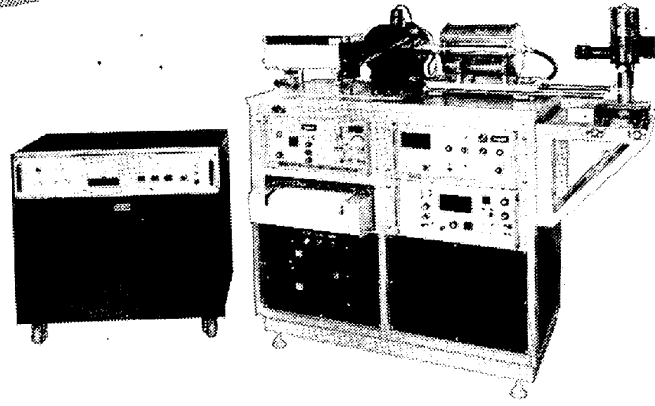


真空理工 高速シリーズ



赤外線イメージ炉による
低速から高速加熱
サイクリック、ステップ加熱可能

抜群の使いやすさ
熟練を必要とせず、現場の
品質管理にも使えます。

高速全-示差両用熱膨張計

DLYT-1500-RH

特長

- 試料サイズは1~20mm長, 1~7mm径。
- 鉄鋼、金属合金、高分子、ガラス、電子部品など広範囲の材料を測定できます。
- $\pm 0.5\%$ (10^{-6} オーダー)の高精度測定です。
- $500^{\circ}\text{C}/\text{min}$ の高速走査から、 $1^{\circ}\text{C}/\text{hr}$ の超低速走査まで速度選定は自由自在です。
- 高速加熱後、急冷後のアイソサーマル測定が可能です。

フラッシュ法による瞬間測定
0.1秒で熱拡散率、比熱、
熱伝導率が同時に測定。

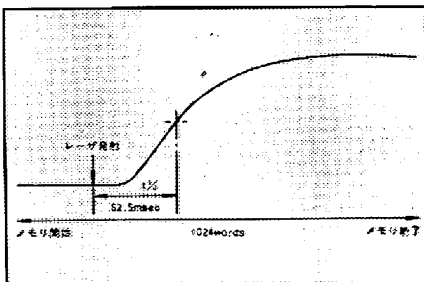
フラッシュ法
熱定数測定装置

TC-3000シリーズ

特長

- 試料サイズは10mm径, 0.1~1mm厚。
- 合金、半導体、岩石、鉱物、カーボン、プラスチック、複合材料、断熱材、ゴムなど広範囲の材料を測定できます。
- 室温から 2000°C 以上の超高温までの測定が可能です。
- 非接触型温度センサを用いれば、試料をセットするのみので、温度変化は光学的にとらえることができます。

ステンレス鋼の α

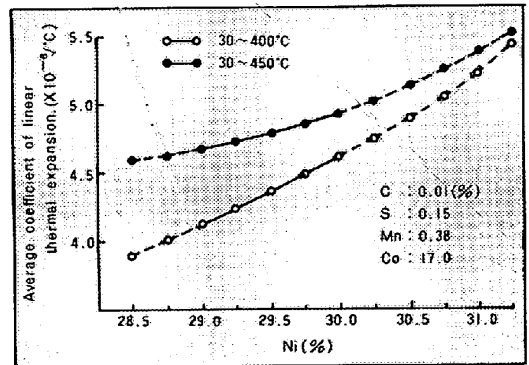


ステンレス鋼 JIS 304は標準試料としてよく用いられます。

試料: SUS304ステンレス鋼

厚さ1.14mm, 直径10mm
メモリ速度: $25\mu\text{sec}/\text{w}$
アンプ感度: $\pm 400\mu\text{V}$
測定温度: 室温
熱拡散率: $\alpha = 0.139 \times \frac{(1.14 \times 10^{-1})^2}{52.5 \times 10^{-3}} = 0.0344\text{cm}^2/\text{sec}$

Fe-Ni-Co合金の熱膨張測定



C, Si, MnおよびCo(17%)一定の場合の熱膨張係数は、Niの増加にしたがい単調に増加しており、Ni29.5%近傍における増加の割合はNi1%当り 0.5×10^{-6} ($30 \sim 400^{\circ}\text{C}$) および 0.3×10^{-6} ($30^{\circ}\text{C} \sim 450^{\circ}\text{C}$) となっている。

ULVAC SINKU-RIHO 真空理工株式会社

本社・工場/〒226 横浜市緑区白山町300 ☎(045) 931-2221 他
東京営業所/〒104 東京都中央区銀座1-14-4 藤平ビル ☎(03)564-0535 他
大阪営業所/〒532 大阪市淀川区西中島1-11-16 淀川ビル・メゾン淀川726 ☎(06)304-5936

昭和二十三年十月十一日
昭和五十七年二月二十五日
印刷納本 (毎月一回) 印刷
編集兼発行人 東京千代田区大手町一丁目九十四番地
印刷所 東京都板橋区旗野町三十一
倉木沢下直
則守
東京千代田区
日本鋼協
会費に含む
送料は別